

令和3年度事業報告

令和3年度は、「第3次中期計画」（平成31年度～令和3年度（2019年度～2021年度））にもとづき事業を実施する計画でしたが、前年度から継続して新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う緊急事態宣言の発令及びまん延防止等重点措置が実施された影響で、イベントの自粛や経済活動の縮小など横須賀市シルバー人材センター（以降：センター）事業に大きな支障となりました。

中期計画の数値目標である「会員数1,540名」については、昨年度より女性会員が28名増加し、全体で3名増加しましたが、1,199名と目標には届きませんでした。

もうひとつの数値目標である「契約金額6億4,680万円」については、派遣契約は前年度を2,891万余円上回りましたが、請負・委任契約は前年度を3,797万余円下回り合計契約金額4億9,799万3,506円と目標契約金額の77%にとどまりました。

契約金額の内訳をみると、公共で前年度を上回りましたが、民間、一般家庭で前年度を下回る契約金額となりました。

また、「会員主体の組織運営推進」については、地域班活動、委員会活動、講習会、会員行事等に制限を受けましたが、感染対策を講じながら活動を継続し、班長会を中心に3年ぶりに「第4回文化展」を開催し多くの方が来場しました。

以下、事業計画の項目に沿って実績を報告します。

事業実施状況

1 会員の拡充と質的向上

目標会員数 1, 540名

新規に175名が入会する一方172名が退会したため、年度末の会員数は1,199名となり前年度より3名増加しました。

- (1) 広報委員会が作成したチラシを、市役所本庁舎や行政センターに配架させていただいたり、市内一般家庭に会員が自主的に配布したことで、新規会員の加入につながりました。
- (2) 地域班による会員勧誘活動が行われ、21名の新規会員が入会しました。
- (3) 広報委員会編集による広報紙を年3回発行し、会員に対する連絡事項掲載、会員の投稿掲載、センター行事の予定等の情報提供を行いました。
- (4) 市内配布のフリーペーパー2誌へ計12回の広告出稿を行いました。
- (5) 女性限定入会説明会の実施など、女性会員の拡大に取り組み86名の女性会員が入会し、女性会員は28名増加しました。
- (6) 例年参加していた「ふれあいフェスティバル」「ジャカラランダフェスティバル」「ひくてあまたプロジェクト(生涯現役フォーラム)」「産業まつり」「按針フェスタ」「シニア就職面接会」の各行事は中止となりセンターPR活動の機会が減少しました。
- (7) 入会説明会を25回開催し新入会員の増加を促進しました。
- (8) 会員の知識・技術の向上を目的に、「植木剪定講習会(雑木類)」「植木剪定講習会(クロマツみどり摘み)」「ハウスクリーニング講習会」「刈払機等安全取扱講習会」を開催し、計47名の会員が受講しました。
- (9) 新入会員を対象とした「入会研修会」を25回実施し、就業時の接遇等について研修を行いました。
- (10) 会員対象の福利厚生としてポイント制度および会員の表彰を実施しました。
- (11) 「お茶会」や「手づくりの会」などを開催し女性会員の親睦を深めました。

2 契約金額の拡大

目標契約金額 6億4,680万円

派遣事業の契約は前年度より増加しましたが、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で請負事業は減少し、4億9,799万3,506円と目標契約金額の77%にとどまりました。また、就業率は66.2%となりました。

- (1) 派遣事業は9事業所からの受注が増え、就業会員数も延べ人員で4,463名増加しました。
- (2) 前記の広報活動により就業実績拡大をめざしました。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い新たな就業先の積極的な開拓はできませんでしたが、就業開拓委員会を中心として適正就業の推進に努めました。

3 会員主体の組織の活性化と機能強化

- (1) 会員を中心に構成される8委員会を中心に第4次中期計画を策定しました。

また、例年開催される「委員会大会」は中止となりました。

- (2) 職能グループ活動の推進に取り組み、剪定・除草グループは25グループ161名、ハウスクリーニンググループは10名、お片づけグループは8名、お墓清掃グループは19名の会員が就業しました。
- (3) 地域班では、会員が自主的に会員勧誘や就業機会の拡大や親睦活動、ボランティア活動に取り組みました。前年度は中止となった地域班総会については、引き続き多くの班で中止となりました。
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大のため延期となった「第4回文化展」は、班長会を中心に感染症対策を講じながら開催しました。45名の会員による165点の作品を展示。350名の来場があり、センターのPRと会員の親睦を深めるイベントとなりました。

4 会員の安全就業の推進と健康の維持向上

- (1) 7月・8月の地域安全対策推進員巡回パトロールはコロナウイルス感染拡大に配慮し、安全パトロール員による巡回パトロールとしました。
- (2) 会員に対する健康診断の奨励として費用の一部を補助し、19名の会員が受診しました。
- (3) 安全標語の募集を行い、27名の会員から74点の応募があり、最優秀賞1点、優秀賞4点を選考し、広報紙に掲載するとともに、事務所に掲示しました。
- (4) 安全パトロール員による巡回パトロールを実施し、5月から12月の期間に272か所の就業場所をパトロールした結果、ヘルメット非装着者1名となりました。
- (5) 「安全就業基準」を新入会員に配付しました。
- (6) 安全就業促進のためヘルメットの購入補助を行いました。
- (7) 高齢者の交通安全講演会および講演会後の会員による事故体験報告を予定していましたが中止となりました。

5 地域への貢献

- (1) 活力、生きがい増進の促進として横須賀市民を対象としたソフトテニス大会の開催に協力しました。
- (2) 地域班活動として、清掃活動、資源物の収集等のボランティア活動を行いました。また、共同募金運動の街頭募金に協力し、神奈川県共同募金会から表彰されました。
- (3) 横須賀市が主催するモデル事業「健康チェック教室」に協力し、15名の会員が参加しました。
- (4) 神奈川県立保健福祉大学の授業へ協力し、5名の会員が看護学科学生によるインタビュー（オンライン）を受けました。
- (5) 日本たばこ産業主催のビーチクリーン活動に20名の会員が参加しました。